

## ■ ■ ■ 6月のリクリエーション・ゲーム ■ ■ ■

### 【指導者の方へ】

少しなれてきましたか？子どもたちもなじんできた頃でしょう。

みんなで円形になり、顔をみながらゲームをしましょう。ハンカチ落としやフルーツバスケットなど、遊んだ経験のあるものからやってみましょう。ゲーム指導は、自分ではよくわかっているつもりでも、子どもたちには伝わりにくかったり、ルール細かいところが決められていなかったりと、なかなかスムーズに徹底することは難しいものです。

しかし、楽しく遊ぶためには、ルールをしっかり理解してもらわなければ始まりません。遊んだことのあるゲームの方がイメージもわかりやすいので、練習のつもりで、どんどんやってみましょう。

危険防止、小さい子も楽しめるようになど、遊びながら細かいルール変更をしてもかまいません。自分の子ども会だけのルールがあってもいいのです。

仲良く楽しくできるためにはどうするかを大切にしましょう。

### ☆発信地はどこだ

立って円になり鬼を決めます。鬼はしばらく部屋の外に出て見えないようにします。その間に、発信地になる子を誰か決めます。鬼を呼びもどし、ゲームの始まりです。

発信地になった人は、その場で手を上げたり、しゃがんだり、足踏みしたりといろいろな動作を自分で考えてします。

それを見て全員がまねをして同じ動作をします。鬼に誰が発信地か見破られないように、動作をすることが肝心です。

鬼が、発信地を当てられたら、発信地だった子が次の鬼となり、部屋を出ます。そして新しい発信地を決めて、ゲームを続けます。

鬼が5分以内（結構難しいものです。雰囲気を見ながら時間を切りましょう。）で発信地を当てられなければ、円の外で1回休み。発信地が鬼になり、次の発信地を決めて、ゲームを続けます。

（子どもたちがなれるまで発信地や鬼を誰にするか工夫が必要です。低学年の子がなかなか当てられなかったりします。円の外で休む場所がペナルティーに感じられないようにしましょう。）

人数が多い場合は、鬼を複数にしてもよいでしょう。

